

2024年 3 月 31 日

## 2023 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人土田の里

ホーム名 ソレイユ

代表者・役職名 氏名 理事長 藤田慧久

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

みんなが安心できる車輛購入

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人は障がい児支援施設からスタートしていきました。その事業を行う中で親からの様々な虐待というのを見たり聞いたりすることがありました。実際に施設の利用者も虐待からの一時保護、施設入所という流れにも関わることもありました。そうした中で私たちにできることはないのかと考えたときに自立援助ホームの存在を知り運営しようということになりました。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当施設の公用車は軽自動車のみであるため通院・アルバイト・通学・自然災害などの緊急時の避難などの際は職員の自家用車を合わせて使うことが現状です。事故がおきた時の不安など職員に対して業務外の負担を少しでも軽減させたいと考えます。

また自立支援担当職員を配置することによるアフターケアのため OB 支援をこれまで以上に強化します。そのため OB への訪問が増えることも予想され、公用車の増台は必須であると考えます。今いる利用者だけではなく卒業した OB に対してのケアも解決できるのではないかと考えます。そして OB へのケアを間近で見ることにより子供達は卒業後もソレイユと繋がっていただけるという安心感を持てるのではないかと考えます。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当施設の所在地は岡山三大河川の支流に位置しています。ハザードマップでも2~3mの浸水想定区域です。実際に平成30年西日本豪雨の際には施設前の道路は冠水していました。また当施設は平屋ということもあり子供達や職員の不安も大きく八人乗りの車輛購入は喫緊の課題でもありました。

現状において施設車輛は軽自動車一台のみのため大雨や台風通過が予想される時は避難勧告が出る前に複数回に分けて避難場所に指定している法人内の別施設へ移動しています。利用者全員が乗れる自動車があれば緊急時は勿論、日常生活でも全員でお出掛けするなどホームでの一体感が更に生れると考えます。

また自立支援担当職員による OB 訪問の際にも自家用車を使う必要がなくなり迅速な訪問も可能になります。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

公用車を購入することによってこれまで行うことができなかつた一台の車を使っての外出計画を立てることができました。夏休みには全員参加でのバーベキュー活動や外出など行事の幅が広がりました。外出行事を増やすことにより室内に引きこもりがちだった子供たちも共有スペースで過ごす時間が増えコミュニケーションを図ることが以前より多くなったと感じます。また緊急時の避難訓練も一台の車で行うことができたため以前よりスムーズなものとなりました。その成果として避難指示が一度出たときにスムーズに避難場所まで移動することもできました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後は県外などへの日帰り旅行なども計画していきたいと考えています。当施設の子供たちは旅行に行った経験のない子が多くいます。今いる子供たちは基本的に年齢差もあるので同じメンバーで過ごせるのも実質1年程になります。その年のメンバーで楽しい思い出を共有するためにも同じ車を使い皆で計画を立てて旅行を行いたいと考えています。少しでもソレイユで過ごした時間が本人達にとってかけがえのないものになればと考えています。

また避難訓練も怠ることなく訓練と思わず子供たちの理解を得ながら実施していきたいと考えます。

## 7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

